

医療法人社団博鳳会 敬愛病院

〒173-0036 東京都板橋区向原3-10-23

診療時間やアクセス方法等の情報は[こちら](#)**保有する病棟と機能区分の選択状況(2014(平成26)年7月1日時点の機能)**

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期										
急性期	一般10:1入院基本料…									
回復期										
慢性期										
無回答										

保有する病棟と機能区分の選択状況(6年が経過した日における病床の機能の予定)

病床の機能区分	病棟名									
高度急性期										
急性期	一般10:1入院基本料…									
回復期										
慢性期										
無回答										

分野ごとの情報**◆基本情報□職員配置、届出の状況など)**

- [・病床の状況](#)
- [・診療科](#)
- [・入院基本料・特定入院料及び届出病床数](#)
- [・DPO医療機関群の種類](#)
- [・救急告示病院、二次救急医療施設の告示・認定の有無](#)
- [・在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院の届出状況](#)
- [・職員数の状況](#)
- [・退院調整部門の設置状況](#)
- [・医療機器の台数](#)

◆患者の入退院等の状況

- [・入院患者の状況\(年間\)](#)
- [・入院患者の状況\(月間／入院前の場所・退院先の場所の状況\)](#)
- [・退院後に在宅医療を必要とする患者の状況](#)
- [・看取りを行った患者数](#)

◆医療内容に関する情報**(手術、リハビリテーションの実施状況など)**

- [・手術の状況](#)
- [・がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況](#)
- [・重症患者への対応状況](#)
- [・救急医療の実施状況](#)
- [・急性期後の支援、在宅復帰の支援の状況](#)
- [・全身管理の状況](#)
- [・リハビリテーションの実施状況](#)
- [・長期療養患者の受入状況](#)
- [・重度の障害児等の受入状況](#)

(留意事項)

- 公表している項目の中には、診療報酬制度上で定められた診療行為の定義に従って集計した項目が多くありますが、その項目の解説については、医療関係者以外の方にも分かりやすい表現とする趣旨で記載しているため、診療報酬制度上の定義を詳細には記載していない場合があります。
- また、公表している項目の中には、個人情報保護の観点から、1以上10未満の値を「*」で秘匿している項目があります。

◆基本情報(職員配置、届出の状況など)

病床の状況

		(項目の解説)	施設全体						
一般病床	許可病床	医療機関の病床(ベッド)は、法律(医療法)の許可を得た上で設置することとされており、許可を受けた病床のうち、過去1年間に実際に患者を受け入れた病床数を稼働病床数として示しています。また医療法では、病床のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者が入院するための病床を療養病床と呼んで区分しています。	54床						
	稼働病床		54床						
療養病床	許可病床	療養病床の中には、医療保険を適用した医療サービスを提供するのではなく、介護保険を適用した介護サービスを提供する病床もあります。前者は医療療養病床、後者は介護療養病床と呼んでいます。	0床						
	うち医療療養病床		0床						
	稼働病床		0床						
	うち医療療養病床		0床						
上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数		病室の広さは患者一人あたり6.4平方メートル以上と定められていますが、平成13年3月1日以前に許可を受けた医療機関は、6.4平方メートル未満でも可とされています。値は患者一人あたり6.4平方メートル未満の病床の数です。	0床						
(病棟名)		一般10:1入院基本料…							
(機能区分)		急性期							
一般病床	許可病床	54床							
	稼働病床	54床							
療養病床	許可病床	0床							
	うち医療療養病床	0床							
	稼働病床	0床							
	うち医療療養病床	0床							
上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数		0床							

診療科

		(項目の解説)	施設全体							
主とする診療科	複数ある場合、上位3つ	5割以上の患者を診療している診療科を、主とする診療科として示しています。5割を超える診療科がない場合は、上位3つの診療科を示しています。	\							
(病棟名)		一般10:1入院基本料…								
(機能区分)		急性期								
主とする診療科		-								
複数ある場合、上位3つ		腎臓内科								
		循環器内科								
		内科								

DPC医療機関群の種類

(項目の解説)		施設全体
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。I群が大学病院本院、II群が大学病院本院に準じる病院、III群がそれ以外の病院であることを示します。	DPCではない

救急告示病院、二次救急医療施設の告示・認定の有無

(項目の解説)		施設全体
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。	無
二次救急医療施設の認定の有無		無

在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院の届出状況

(項目の解説)		施設全体
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。	無
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。	無

退院調整部門の設置状況

退院調整部門の有無			施設全体
退院調整部門に勤務する人数	医師	専従	有
		専任	0人
	看護職員	専従	0.0人
		専任	0人
	MSW	専従	0.0人
		専任	1人
	MSWのうち社会福祉士	専従	0.0人
		専任	0人
	事務員	専従	0人
		専任	0.0人
	その他	専従	0人
		専任	0.0人

医療機器の台数

(項目の解説)			施設全体
CT	スマーラルス	64列以上	0台
		16列以上64列未満	1台
		16列未満	0台
	その他		0台
MRI	3T以上	MRIは、主に磁気を利用して、身体の断面を撮影する装置です。T(テスラ)は、磁気の強さを表す単位で、値が大きいほど高画質の画像が得られます。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	1.5T以上3T未満		0台
	1.5T未満		0台
その他	血管連続撮影装置	血管連続撮影装置は、X線では映らない、血管の状態を撮影するための装置です。値は医療機関が保有する台数です。	1台
	SPECT	SPECTは、特殊な薬剤を注射したあとに撮影することで、体のなかの血液の分布を調べる装置です。とくに、脳血管障害や心疾患の診断に用いられます。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	PET		0台
	PETCT	PETCTは、診断の精度を向上させるためにPETとCTを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	PETMRI	PETMRIは、診断の精度を向上させるためにPETとMRIを組み合わせた装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	強度変調放射線治療器	強度変調放射線治療器は、腫瘍に精確に放射線を照射する装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台
	遠隔操作式密封小線源治療装置	遠隔操作式密封小線源治療装置は、体の内側から放射線を照射する機能を持つ装置です。値は医療機関が保有する台数です。	0台

[TOPへ戻る](#)

退院後に在宅医療を必要とする患者の状況

		(項目の解説)								施設全体
退院患者数(1ヶ月間)		平成26年6月の1か月間に退院した患者に対する、在宅医療の提供の必要性に関する項目です。								40人
退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者数										0人
退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者										2人
退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者(死亡退院含む)										38人
退院後1か月以内に在宅医療の実施予定が不明の患者										0人

(病棟名)	一般10:1入院基本料…									
	(機能区分)	急性期								
退院患者数(1ヶ月間)	40人									
退院後1か月以内に自院が在宅医療を提供する予定の患者数	0人									
退院後1か月以内に他施設が在宅医療を提供する予定の患者	2人									
退院後1か月以内に在宅医療を必要としない患者(死亡退院含む)	38人									
退院後1か月以内に在宅医療の実施予定が不明の患者	0人									

看取りを行った患者数

※在宅療養支援病院、在宅療養支援後方病院の届出を行っている病院のみが報告する事項です。

		(項目の解説)								施設全体
直近1年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関以外での看取り数(年間)		患者の死期まで見守り臨終に付きそなうことを看取りといいます。値は、平成25年7月から平成26年6月までの1年間に在宅療養を担当し、看取りまで支援した患者について、その看取りを行った場所や数を示しています。								0人
うち自宅での看取り数										0人
うち自宅以外での看取り数										0人
直近1年間で在宅療養を担当した患者のうち、医療機関での看取り数(年間)										0人
うち連携医療機関での看取り数										0人
うち連携医療機関以外での看取り数										0人

[TOPへ戻る](#)

◆医療内容に関する情報(手術、リハビリテーションの実施状況など)

手術の状況

		(項目の解説)	施設全体
手術総数 臓器別の状況	皮膚・皮下組織	手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	20件
	筋骨格系・四肢・体幹		*
	神経系・頭蓋		0件
	眼		0件
	耳鼻咽喉		0件
	顔面・口腔・頸部		0件
	胸部		0件
	心・脈管		21件
	腹部		0件
	尿路系・副腎		0件
	性器		0件
	歯科		0件
全身麻酔の手術件数 臓器別の状況	皮膚・皮下組織	全身麻酔を用いて手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	0件
	筋骨格系・四肢・体幹		0件
	神経系・頭蓋		0件
	眼		0件
	耳鼻咽喉		0件
	顔面・口腔・頸部		0件
	胸部		0件
	心・脈管		0件
	腹部		0件
	尿路系・副腎		0件
	性器		0件
	歯科		0件
胸腔鏡下手術	胸部を切り開くことはせず、胸部に開けた小さな穴から、胸部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「きょくつきょうかしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。		0件
腹腔鏡下手術	腹部を切り開くことはせず、腹部に開けた小さな穴から、腹部用の内視鏡などの器具を入れて行う手術で「ふくくつきょう かしゅじゅつ」と読みます。値はこの手術を行った患者数です。		0件
内視鏡手術用支援機器加算	内視鏡手術ロボットを用いて前立腺がん手術を行った患者数です。		0件

がん、脳卒中、心筋梗塞、分娩、精神医療への対応状況

(がん)		(項目の解説)	施設全体
悪性腫瘍手術		がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。	0件
病理組織標本作製		患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることを病理診断といいます。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。	0件
術中迅速病理組織標本作製		病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることを術中迅速診断といいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行つた患者数です。	0件
放射線治療		がんに放射線を当てる(照射する)ことで、がんを縮小させる治療を放射線治療といいます。値は放射線治療を行つた患者数です。	0件
化学療法		化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行つた患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742 腫瘍用薬」に指定されている医薬品のこと指します。)	0件
がん患者指導管理料1及び2		がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行つてることを示す項目です。値は相談や指導を行つた患者数です。	0件
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行つた患者数です。	0件
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入		肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法を、抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入といいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行つた患者数です。	0件
(脳卒中)		(項目の解説)	施設全体
超急性期脳卒中加算		脳梗塞の患者に対し、発症後速やかに薬剤を投与して血栓を溶かす治療を行つたことを示す項目です。値はこの治療を行つた患者数です。	0件
脳血管内手術		脳血管内手術は、脳動脈瘤等の患者に対し、頭蓋骨を切り開く開頭手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて脳の血管の内側から患部を治療する手術です。値はこの手術を行つた患者数です。	0件
(心筋梗塞)		(項目の解説)	施設全体
経皮的冠動脈形成術		経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行つた患者数です。	*
(分娩)		(項目の解説)	施設全体
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)		分娩を行つた患者数です。	0件
(病棟名)	一般10:1入院基本料…		
	急性期		
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	0件		
(精神医療)		(項目の解説)	施設全体
入院精神療法(I)		入院精神療法は、精神疾患の患者に対し、治療計画に基づいて患者の精神面に対して施す治療です。値はこの治療を行つた患者数です。	0件
精神科リエゾンチーム加算		精神疾患の患者に対し、精神科医や専門の看護師等が共同し、多職種チームとして診療を行つてることを示す項目です。値はこうした診療を行つた患者数です。	0件

全身管理の状況

(項目の解説)		施設全体
中心静脈注射	中心静脈注射は、薬剤や栄養を長時間、安定的に供給する目的等で、血液量が多く流れも速い心臓近くにある太い静脈(中心静脈)に注射する行為です。値はこの注射を行った患者数です。	*
呼吸心拍監視	呼吸心拍監視は、重篤な心機能障害や呼吸機能障害をもつ患者に対し、その呼吸や心拍数の状況を持続的に監視する検査です。値はこの検査を行った患者数です。	38件
酸素吸入	酸素吸入は、呼吸器疾患等で酸素が欠乏した状態の患者に対し、高濃度の酸素を吸入させる処置です。値はこの処置を行った患者数です。	19件
観血的動脈圧測定(1時間を越えた場合)	観血的動脈圧測定は、重症患者の血压観察のために、動脈に管を挿入し、持続的に血压を測定する検査です。値はこの検査を行った患者数です。	0件
ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄	ドレーン法は、手術後等の患者に対して、脇腹や腹部等に管を入れ、体内に溜まった消化液、膿、血液や浸出液などを体外に排出する処置です。胸腔・腹腔穿刺は、脇腹、腹部に針を刺し、洗浄、注入および排液をする処置です。値はこれらの処置を行った患者数です。	*
人工呼吸(5時間を超えた場合)	人工呼吸は、呼吸の力が弱くなった患者に対し、機器を使って呼吸の補助をおこない、過剰にたまつ二酸化炭素を排出し、酸素の取り込みを促す処置です。値は5時間以上継続的にこの処置を行った患者数です。	*
人工腎臓、腹膜灌流	人工腎臓は、透析機器(人工膜)を通して、血液中の老廃物や余分な水分を取り除き血液を浄化する処置です。腹膜灌流(ふくまくかんりゆう)は、患者の腹膜(腹部の臓器を覆う膜)介して血液中の余分な水分や老廃物が透析液側に移動する処置です。値はこれらの処置を行った患者数です。	49件
経管栄養カテーテル交換法	経管栄養カテーテル交換法は、口からの栄養摂取が難しく、胃や食道にカテーテル(細い管状の医療器具)を挿入し、直接栄養を送り込む処置を行っている患者について、そのカテーテルを交換する処置です。値はこの処置を行った患者数です。	0件

リハビリテーションの実施状況

(項目の解説)		施設全体
疾患別リハビリテーション料	患者の疾患や状態に応じたリハビリテーションを行った患者数です。	0件
心大血管疾患リハビリテーション料	心筋梗塞、狭心症、慢性心不全等の患者に対し、必要な心機能の回復、疾患の再発予防等を図るために行うリハビリテーションです。値はリハビリテーションを行った患者数です。	0件
脳血管疾患等リハビリテーション料	脳梗塞、脳出血等の患者に対し、必要な基本動作能力、言語聴覚能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
運動器リハビリテーション料	脊椎損傷による四肢麻痺、関節拘縮(かんせつこうしづく:関節の動きが制限された状態)等の患者に対して、必要な基本的な動作能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
呼吸器リハビリテーション料	肺炎、肺腫瘍、慢性の呼吸器疾患等の患者に対し、症状に応じて必要な呼吸訓練等を行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
難病患者リハビリテーション料	バーキンソン病関連疾患、多発性硬化症等の難病患者に対して、必要な生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	
障害児(者)リハビリテーション料	脳性麻痺、発達障害等の患者に対し、状態に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
がん患者リハビリテーション料	がんの患者に対し、治療の過程で生じた筋力低下、障害等の改善を目的として行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
認知症患者リハビリテーション料	重度の認知症患者に対し、必要な認知機能や社会生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
早期リハビリテーション加算(リハビリテーション料)	治療開始後の早期段階(治療開始日から30日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は早期段階のリハビリテーションを行った患者数です。	0件
初期加算(リハビリテーション料)	治療開始後の初期段階(治療開始日から14日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は初期段階からリハビリテーションを行った患者数です。	0件
摂食機能療法	食べる機能(摂食機能)が落ちている患者に対し、症状に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。	0件
リハビリテーション充実加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	より多くのリハビリテーションを集中的に提供できる病棟であることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。	0件
体制強化加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	患者の早期の機能回復や退院を促進するために、専門の医師や社会福祉士を配置していることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。	0件
休日リハビリテーション供体制加算(回復期リハビリテーション病棟入院料)	休日にも平日同様にリハビリテーションを提供できるような職員配置がなされていることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。	0件
入院時訪問指導加算(リハビリテーション総合計画評価料)	医師、看護師等が、患者が退院後に生活する自宅や施設等を訪問し、その住環境や家族の状況等を踏まえたリハビリテーション実施計画を策定していることを示す項目です。値はこのようにして計画が策定された患者数です。	0件

